

# 開拓伝道通信

## 二俣川キリスト教会

牧師 湯澤宣道、湯澤鈴世



**「神は、すべての人々が救われて  
真理を知るようになることを  
望んでおられます。」**

テモテへの手紙 1 2章 4節

## 二俣川での伝道の歩み 湯澤宣道

### いきさつ

私は 1974 年春、東京聖書学校を卒業しました。在学中から卒業後にかけて、日本基督教団は大阪万博問題に端を発した混乱の中にありました。神学校卒業時期が絡み、私たちは教団問題に関わらざるを得ず、教師資格を得ぬままに年月を過ごしました。

1997 年、こうした状況にけじめをつける決意をし、教団教師を辞し、教会に辞任を申し出ました。何の当てもない辞任でした。当てはないのですが、伝道のほか私たちの進む道はありません。知らない土地で伝道を始めることにし、導かれたのが二俣川でした。

### 伝道の方針

- ◆伝道の手薄な地域で伝道すること。
- ◆全ての人々が救われることを願い意志される神(テモテ 2:4)であれば、必ず実を結ばせてくださることを信じること。
- ◆教会はこれからできるのではなく、すでにここにあることを信じること。

み言葉が正しく語られ、聖礼典が執行される場所にまことの教会があるとの改革者の言葉に立ち、当初から教会としての自覚をもち、

教会としての筋を通すことを心がけました(初めは家族3人)。

◆礼拝に力を注ぐこと～み言葉を語ることに望みをかけました。最初の十数年は家族の生計のためフルタイムで働かざるを得ませんでしたので、この方針で自ら励まされました。また、文書伝道を可能な限り行ってきました。

### 経 過

亀のような進み具合ですが、神さまは真実をもって答えてくださって来たと思っています。

公団団地で3年、駅近の古い貸家で11年、現在の賃貸建物で6年と過ごしてきました。二回の移転は、教会活動には極めて厳しい不動産環境の中で、不思議なように導かれました。貸家に移ってから一人、二人と礼拝に加わる方々が起こされ、主日毎の礼拝を喜びとして今日に至りました。この20年、人の出入りを経つつ参りましたが、現在13名前後で礼拝をささげ、受洗する人も加えられております。

### 展 望

教会としての自立、地域に根を下ろすために不可欠の施設の確保が課題だと思えます。わざを始めたもうたお方が道を備えたもうと信じ進んでいます。